

第405回プレミアム定期演奏会 大阪公演

広島

HIROSHIMA
SYMPHONY
ORCHESTRA

交響楽団

「讃々」平和を讃えて

© HT / PCM

「ピアノ」ゲルハルト・オピッツ
Gerhard Oppitz, Piano



ベートーヴェン ピアノ協奏曲 変ホ長調 作品73 「皇帝」

〈ベートーヴェン・コンチェルト・シリーズ〉

Beethoven: Piano Concerto No.5 in E-flat major Op.73 "Emperor"

ブルックナー 交響曲 第4番 変ホ長調 「ロマンティック」(ハース版)

Bruckner: Symphony No.4 in E-flat major "Romantic" (Haas Edition)

【指揮】下野竜也

Tašuya Shimono, Conductor

2020 11.15 (日) 14:00開演 (13:00開場) ザ・シンフォニーホール 全席指定 5,500円(税込)

主催:公益社団法人 広島交響楽協会 / ザ・シンフォニーホール 運営協力:コジマ・コンサートマネジメント

ご予約・お問合せ ■ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (10:00~18:00 火曜定休) <http://www.symphonycity.jp>

プレイガイド

■ 広島事務局 082-532-3080 (平日9:00~17:20) <http://hirokyo.or.jp> ■ e+(イープラス) <http://eplus.jp/symphonycity> (パソコン・携帯)

■ ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:54090] (オペレーター対応 10:00~18:00) ■ チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:179-302]

[SNS割引サービス] チケット発売後2020年10月31日(土)までに、当コンサートのことをご自身のFacebook、twitter等でご紹介いただくとチケット料金を1,000円引きいたします。

広島事務局へFacebook、twitter等のURL情報をお送りください。詳しいお申込み方法は広響のホームページをご覧ください。

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合はございます。予めご了承ください。

発売日 Sinfonia会員先行 / 2020年3月19日(木) 10:00~
一般発売 / 2020年5月17日(日) 10:00~
広島事務局 / 2020年5月18日(月) 9:00~

広島交響楽団

“讃” 平和を讃えて

昨年8月、広島交響楽団はワルシャワでの「ショパンと彼の時代のヨーロッパ」音楽祭に出演。立ち見が出るほどの盛況ぶり、メディアも大きく取り上げた。今年は被爆75年…広響も「“讃”～平和を讃えて」をテーマに活動を展開。そして、3年ぶりにザ・シンフォニーホールに登場する。「プレミアム」定期演奏会として大阪と広島で演奏されるのは2曲。まず、広響の「ベートーヴェン・コンチェルト・シリーズ」の集大成となるベートーヴェン《ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」》を、巨匠ゲルハルト・オピッツと共演。自ら選定した同ホールのピアノで、傑作「皇帝」に挑む。また、広響×下野竜也はブルックナーを毎年1曲演奏しており、今年は《交響曲 第4番「ロマンティック」》だ。ウィーン由来の2曲を、その地に学んだ下野がどのように聴かせてくれるだろうか。

文 道下京子

下野竜也 [指揮] Tatsuya Shimono, Conductor

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月～)、広島ウインド・オーケストラ音楽監督(2011年1月～)。

鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコフィルハーモニー管、シュツットガルト放送響、シリコンバレ響など国際舞台での活躍が目覚ましい。

これまでに読売日本交響楽団初代正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任客演指揮者、同常任首席客演指揮者を歴任。

京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授、東京音楽大学吹奏楽アカデミー特任教授、東京藝術大学音楽学部指揮科非常勤講師として後進の指導にもあたる。

太鼓芸能集団「鼓童」ミュージックアドバイザー。鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



ゲルハルト・オピッツ [ピアノ] Gerhard Oppitz, Piano

ドイツ・ピアノ界の正統派を代表する演奏家。音楽解釈におけるこの楽派の流れは、オピッツ自身の師であるヴィルヘルム・ケンプに繋がり、その源流はリストやベートーヴェンにまで直接遡る。

1977年、第2回アルトゥール・ルービンシュタイン国際コンクールで優勝し、一躍世界的な脚光を浴びた。1981年、ミュンヘン国立音楽大学で開校以来最も若い教授となる。

これまでに、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめとする著名なオーケストラ、ジュリーニ、ムーティ、マゼール、メータ、コリン・デイヴィス、サヴァリツシュ等一流の指揮者と共演している。また、発売されたCDは既に40枚を超える。

日本では1994年、NHKテレビのベートーヴェン・ソナタの演奏およびレッスンが、爆発的人気を呼ぶ。2005～08年、彼自身日本で初めての試みであった「ベートーヴェン・ソナタ全曲演奏会」に続き、2010～13年に開催した「シューベルト連続演奏会」は、いずれも大絶賛のうちに終了した。2015年からは、「シューマン×ブラームス連続演奏会」をスタートさせる。親日家でもあり、日本で最も人気のあるピアニストの一人である。



広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市“広島”を本拠地に“Music for Peace ～ 音楽で平和を”をテーマに活動するプロ・オーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。

クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに迎えている。また、ピアニスト、マルタ・アルゲリッチには広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に平和を希求する音楽活動を続けている。

1963年設立。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれ、海外ではオーストリア、チェコ、フランス、ロシア、韓国、ポーランドで公演を行い音楽による平和のメッセージを発信している。

「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」ほか受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp>

